

提案名	地域林産業主導型：林産地と都市をつなぐ長期優良住宅	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	株式会社山長商店	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

我が国の針葉樹人工林蓄積量の大部分は地方の林産地にあり、木造住宅着工数の大部分は都市部にある。したがって、同一都道府県内の地産地消だけではなく、地方の林産地と都市部を結びつけ、地方の林産地から運ばれた木材で建てられた都市部の木造住宅に消費された資金が、地方の林産業に還流され、山も含めた大きな木質資源の持続的な循環を作り出すことにより、木造等循環型社会を形成することを目的とするものである。それには地域林産業主導により、都市部の中小工務店とのネットワークを作りあげ、長期優良住宅の普及に寄与することを狙いとしている。さらに、木材産地を「第二の故郷」都市部住宅を「第二の森林」と位置づけ、林産地が都市の住まい手に森林や木材の情報や林産地の情報を発信し、第二の故郷として住まい手は林産地を意識し、強固な連帯を作り出し、「大切に長く住み継ぐ」という長期優良住宅の本質的な目的に寄与することになる。本提案は和歌山県田辺市で、林業、製材、プレカットを一貫して行っている(株)山長商店を地域林産業者の拠点とし、和歌山県内及び首都圏をはじめとする都市部の主要取引先 154 社の家づくりに対して、国産材の利用を促進し、長期優良住宅サポート実績のある会社と提携し、住宅の長期優良化のサポート体制を構築し、長期優良住宅の工務店業界への実質的普及に寄与するものである。

■提案内容

(1) 地域無垢材の確実な品質管理の啓発と、都市部における利用拡大

和歌山県のスギやヒノキの無垢材は他地域に比べて強度が高く、無垢の構造材生産に適した地域であるが、都市部の工務店や住まい手の多くが現状の国産材の品質管理の不十分さから来る品質（強度、乾燥）に不安を抱いて、国産無垢材の利用拡大を阻害している現状を鑑み、品質管理を確実にし、その品質の「見える化」により国産材利用を啓発推進する。

① 無垢の J A S 認定製品の使用

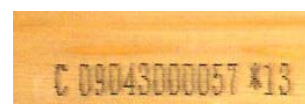
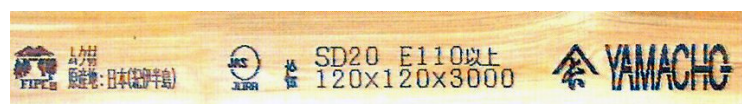
(株)山長商店ではH16年より柱材の J A S 製品を供給しているが、森林資源の充実により、中目材の利用拡大が課題となっている現状から、H20年全国に先駆け横架材の J A S 認定を取得した。本提案では、柱材は全量、横架材は J A S 認定対象外のサイズや樹種特性により含水率の若干高い材等、一部の材を除き、原則として国産無垢材の J A S 製品を使用する。

② 産地表示・合法木材の使用

森林資源の持続可能性を担保するため木材表示推進協議会(FIPC)の認証により、産地及び合法性が証明された木材を使用する。

③ 品質情報の印字とシリアルナンバーによる品質管理

上記の品質を総合的に「見える化」するため、すべての品質情報を製品に印字すると共に製品一本一本にシリアルナンバーをつけ品質情報をコンピューターで一元管理する。



④ 無垢材の確かな選別と高度なプレカット技術の提供

真壁用「特一化粧」の等級を設け、木材の化粧品質及び価格の選択肢を拡大すると共に、丸太加工等大工技術と生産合理性を両立させる高度なプレカット技術により加工の多様化を図り、様々な架構に柔軟に応じる。



(2) 環境負荷削減の「見える化」と炭素固定指標を組み込んだ地域林産業者による維持管理計画

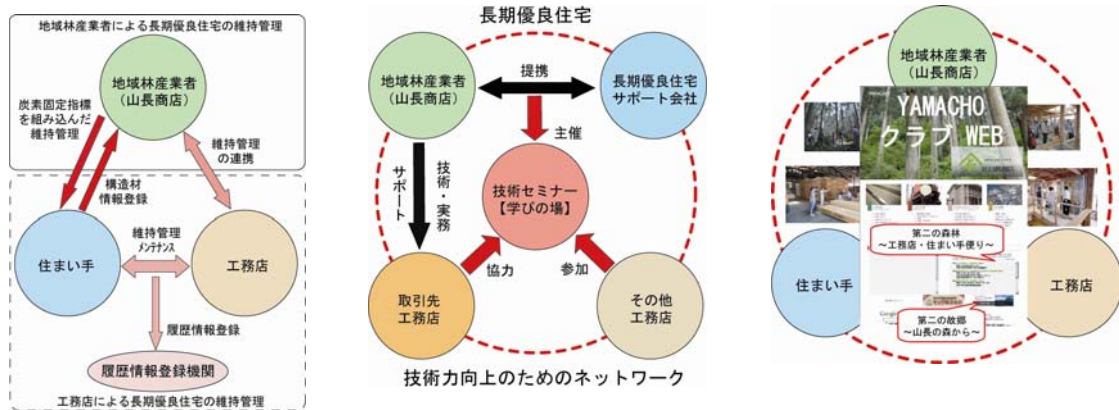
木材生産の環境負荷の中でも「輸送」と「乾燥」負荷の削減に寄与するため「ウッドマイレージ CO2」と乾燥機の「バイオマス利用率」を用いて木材生産の環境負荷状況を「見える化」し関係者の環境意識を啓発する。また、「長期に渡り木材の炭素固定を維持する」という観点から使用構造材情報を製品の品質情報と共に地域林産業者内のサーバーに保存管理した上で、工務店による定期点検時に構造材の炭素固定状況を確認する。

(3) 地域林産業主導による、工務店サポート体制の構築

長期優良住宅の技術や実務の指導実績が豊富な会社と提携し、工務店のスキルアップに取り組むことにより、長期優良住宅の要求レベルを達成するための技術セミナーの開催を中心に、支援を行う。

(4) 「第二の故郷」と「第二の森林」をつなぐ「山長クラブ」の発足

「第二の故郷(木材産地)」と「第二の森林(都市部住宅)」をつなぐ「山長クラブ」を発足する。既に実施している山や製材工場を巡る体験ツアーを軸に、都市部住民と地域の活発な交流を誘発するため、情報の自由な受発信が可能な「山長クラブWEB」を新たに構築する。



(5) 現代版「棟札」を作成・配布

住まい手家族、林産業者、建築業者の名前及び上棟年月日を、棟札へ記した現代版「棟札」を作成・配布する。そして、住まい手、林産業者、建築業者主催による構造見学会を開催し、「たいせつに長く住み継ぐ」という長期優良住宅の本質を普及啓発する。

【住宅の提案の具体的内容】

- ①プレカット工場において、柱の強度選別を行い、1階柱には（杉 E90 以上, 桧 E110 以上）を使用し、梁桁材の構造性能について再確認する。
- ②給水、給湯配管はサヤ管ヘッダー方式とする。
- ③小屋裏点検口を設置する（小屋裏がある場合のみ）
- ④耐力壁は、可能な限り外壁及び水廻りに配置する。
- ⑤住宅の省エネルギー性能を「CASBEE-住まい(戸建)」により明示する。
- ⑥住宅履歴情報登録機関により履歴情報を保存管理する。

■提案者からのコメント

これまで10年以上に渡り、和歌山の地より強く美しい紀州材を都市の住まい手に届けてまいりました。このたび林業家、林産業者、流通業者、工務店、住まい手が結び付きを強固にして、長期に住み継ぎ、維持管理をしていくという長期優良住宅の理念を軸にその普及と安定した供給体制を構築し、山への還元を通じて、木質資源の循環の大きな輪を作り上げる機会を与えられ、身の引き締まる思いをしております。「人・意識・思い」というソフト面での強固な連帯を作り出し、日本の林業、林産業の再生の一端を担い、工務店業界の方々と力をあわせ、住まい手の方々の心豊かな住まい作りに貢献していきたいと考えております。